平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	初等教育のためのICT活用1(ICT_1 for Primary education)			**授業コード**	P181201
担当教員名	坪倉　篤志			**科目ナンバリングコード**	P12001
配当学年	2年	**開講期**	前期		
必修・選択区分	必修	**単位数**			
履修上の注意または履修条件	こども情報教育コース　履修生は必修。履修制限:20名。残席があれば、教職履修生や他コース学生の履修も可。情報リテラシー1・2　単位修得済。 課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。				
受講心得	授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。学内外で実施される講習会のサポートなどへの取り組みを推奨します。学生による自主的な勉強会の実施を推奨します。				
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。				
参考文献及び指定図書	eラーニング白書。 コンピュータを使わない情報教育アンプラグドコンピュータサイエンス。 わかる・なれる ICT支援員: すすめよう!学校のICT活用。 情報処理2016年04月号特集「プログラミング入門をどうするか」 https://www.ipsj.or.jp/magazine/programming-education.html 動き始めた情報教育の改革をさらに良い方向へ導くために、私たちにできること　～学習指導要領の状況とプログラミング教育　http://www.wakuwaku-catch.net/kouen161101/ ICT支援員　ハンドブック　http://www.cec.or.jp/cecre/ictsup/ictup_book.pdf サイバーセキュリティのひみつ(IPA)　https://kids.gakken.co.jp/himitsu/111/				
関連科目	初等教育のためのICT活用2、教職系科目、情報リテラシー1、情報リテラシー2、コンテンツ企画論、デジタルコンテンツ論、コンテンツ制作系科目(Webデザイン、Webアニメーション、コンピュータグラフィックス、コンピュータミュージック、映像)				

授業の目的	初等教育におけるICTを活用した教育に関する知識と技能を、座学と演習から学びます。
授業の概要	初等教育におけるICTを活用した教育について、事例から座学と演習から学びます。初等教育で利用されるICT機材を利用し、ICTを活用した教育において必要な知識と技能について、体系的に学びます。

○授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 : オリエンテーション	この分野で勉強する内容について、オリエンで解説します。解説した事項について各自で調査に取り組みます(3時間)
第 2 週 : 小学校教員とは(1) 学校教育が目指すものや、学校教育に求められること、教師に求められることについて解説から学びます。	授業で解説した事項について復習に取り組みます。また課された課題に対して取り組みます(3時間)
第 3 週 : 小学校教員とは(2) 小学校教育とは(1)の内容に加え、さらに研修制度、服務などについて解説から学びます。	授業で解説した事項について復習に取り組みます。また課された課題に対して取り組みます(3時間)
第 4 週 : 学校教育におけるタブレットの基本操作とリテラシー	

授業で用いる端末の基本操作について学びます。	授業で解説した事項について復習に取り組みます。またタブレットの学校教育での導入事例についてまとめます。（3時間）
第 5 週 ： ICTを活用した教育(1) ICTを活用した教育を支える環境や技術と資格について学びます。	授業で解説した事項について復習に取り組みます。また資格の調査と取得に向けた勉強について調査します。（3時間）
第 6 週 ： ICTを活用した教育(2) ICTを活用した教育を支える技術について学びます。	授業で解説した事項について復習に取り組みます。またICT支援員に求められる技能と知識について学習します。（3時間）
第 7 週 ： タブレットを活用したプレゼンツール活用演習 タブレット端末を用いたプレゼンテーションに向けソフトの基本操作と、制作に取り組みます。	タブレット端末を用いたプレゼン資料作成に取り組みます（3時間）
第 8 週 ： 小学校教育におけるプログラミング入門について(1) グループワークにて、プログラミング教育について解説記事を用い学びます。	小学校教育でのプログラミング入門に向け、公開資料を用いた学習に取り組みます（3時間）
第 9 週 ： 小学校教育におけるプログラミング入門について(2) グループワークにて、プログラミング教育について解説記事を用い学びます。	小学校教育でのプログラミング入門に向け、公開資料を用いた学習に取り組みます（3時間）
第10週： 小学校教育におけるプログラミング体験 小学校教育におけるプログラミング教育を受講し、体験から学びます。	小学校教育でのプログラミング授業を体験しました。体験から各自でプログラミング授業について考えます。（3時間）
第11週： コンピュータサイエンスアンプラグド コンピュータを用いない情報教育について学びます。	CSアンプラグドで他の手法について復習から学びます。（3時間）
第12週： 情報リテラシー（児童向け）(1) グループワークで、児童向けの情報リテラシーについて2回で学びます。今回は、グループでテーマを決め、各自で事例調査とグループ内発表会、ディスカッションを行います。次にグループ全体でのプレゼン資料作成に取り組みます。	次回のプレゼンに向けた資料作成に取り組みます（3時間）
第13週： 情報リテラシー（児童向け）(2) 第12週で取り組んだ事例調査結果について、グループ毎に発表します。発表会の後、各グループの発表内容について、ディスカッションに取り組みます。また、地域の児童に向けた教材や勉強会について検討します。	他グループ発表から、情報リテラシー教育について考えます（3時間）
第14週： 先進的事例紹介 国内外の先進的なICTを活用した授業実践事例や技術について学びます。	国内外の先進的なICTを活用した授業事例について、学習します（3時間）
第15週： 復習と小テスト 授業全体を通した振り返り・復習と小テストに取り組みます。	今期の取り組みを振り返り、全体の復習に取り組みます（3時間）

第16週：			
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」	
	（2）複数担当の場合の方式		
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目		
備考			

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	ICTを活用した教育実践に向けた関心
【知識・理解】	ICT支援員が持つ技術的知識、ICTを活用した授業実践事例
【技能・表現・コミュニケーション】	ICT支援員に求められる技術的知識。ICTを活用した、調査結果のプレゼン資料作成力。レポート作成力
【思考・判断・創造】	ICTを活用する上でのリテラシーや法律の理解と実践

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	5点	5点	5点	
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点	10点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	10点	10点	
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	10点	10点	10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	レポートの提出、レポートの記載内容。手書き文字の可読性。
発表・その他（無形成果）	課題やワークへの取り組み。